

三郷市のプロフィール

Misato City Profile

地 勢

三郷市は、埼玉県の東南端に位置し、都心から最近地点15km、最遠地点で24kmにあり、東西は5.6km、南北は9.5kmあります。地域の地形は低平でほとんど高低なく、北から南に向かってわずかに低くなっています。昭和47年5月3日の市制施行以来、都市化が進んでおり、武蔵野線、つくばエクスプレスの開通や、常磐自動車道、首都高速6号線、東京外環自動車道の開通により、交通の要衝として発展を遂げています。また、三郷インターチェンジ周辺やつくばエクスプレス三郷中央駅周辺の土地区画整理事業、新三郷ららシティのまちなみなど、市街地整備も進む一方で、豊かな自然に囲まれ、四季折々の景色を楽しむことができるまちとして、にぎわいをしています。



市章の由来

三郷がまだ村だった昭和35年12月10日に市民の公募により選定され、三郷町、そして三郷市に引き継がれている市章です。3つの「サ」「ト」をカタカナで図案化し「ミサト」を示しています。



三郷市民憲章

1. 環境をととのえ、川や道路をきれいにし、花とみどりを愛して、美しいまちをつくりましょう。
1. 老人やこどもをいたわり、おたがいに人格を尊重し、しあわせな家庭、豊かな都市をつくりましょう。
1. 教養を高め文化の向上をはかり、若い力を伸ばして明るい社会をつくりましょう。
1. スポーツを愛し、自然に親しみ、健康で住みよい郷土をつくりましょう。
1. すべてのきまりを守り、交通災害や暴力のない平和な三郷をつくりましょう。

(昭和47年5月3日制定)



三郷市の友好都市

長野県安曇野市(旧三郷村)

(昭和59年9月22日 友好都市提携調印)

北アルプスを背景に、四季折々の自然の美しさを見せる安曇野市。その一角にある旧三郷村とのつながりで、友好都市交流がはじまりました。

奈良県生駒郡三郷町

(昭和61年10月18日 友好都市提携調印)

三郷町は信貴山・龍田大社や古い遺跡が多く見られる歴史の町。金剛生駒紀泉国定公園の一部でもあり、豊かな自然と文化に恵まれた穏やかな趣のある町です。

三郷市

マスコットキャラクター



市の鳥「かいつぶり」をモチーフに、三郷市の親善大使として誕生しました。

©三郷市 2009



かいちゃん

つぶちゃん

災害時相互応援協定

- 奈良県三郷町 ● 長野県安曇野市 ● 福島県広野町
- 千葉県館山市 ● 東京都葛飾区 ● 福島県西会津町
- 埼玉県行田市 ● 県内全市町村

ホストタウン交流 (ギリシャ共和国)

平成28年6月、三郷市が「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向け、ホストタウン※(相手国:ギリシャ共和国)に登録されました。以降、文化やスポーツ、産業や教育などの幅広い分野においてさまざまな交流を重ねており、東京2020大会終了後もギリシャ共和国とのホストタウン交流は未永く続いていきます。

※ホストタウンとは、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に地域の活性化等を推進し、大会参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図るための制度です。



東京2020オリンピックに向けた
ギリシャ共和国陸上競技選手団 事前キャンプにて



市の歩み

History of Misato City



三郷中央駅開業



昭和	
1956／S31年	彦成・東和・早稲田の三村が合併し、三郷村が誕生(人口1万7,313人)  三郷村役場
1964／S39年	町制施行(人口2万1,766人)、三郷町となる
1972／S47年	市制施行(人口4万9,618人)三郷市となる ／三郷市民憲章制定／第六小学校(吹上小学校)開校／第1学校給食センター完成
1973／S48年	国鉄武蔵野線開通、三郷駅開業 ／みさと団地第一次入居開始／桜小学校開校
1974／S49年	鷹野・新和・幸房・立花小学校、栄中学校開校 ／市の花サツキ、市の木シノノキを制定
1975／S50年	彦糸小学校・彦成中学校開校／早稲田公園に市民プール完成
1976／S51年	第2学校給食センター完成
1977／S52年	勤労者体育館・県立三郷勤労青少年ホーム開館 ／北公民館・北児童館開館／三郷市交通安全都市宣言
1978／S53年	前谷小学校開校
1979／S54年	北郷小学校開校／岩野木老人福祉センター開所 ／三郷放水路完成／新大場川水門完成
1980／S55年	彦郷・高州東小学校開校／松戸三郷有料道路開通 ／早稲田団地入居開始
1981／S56年	新共和橋竣工／丹後小学校・彦糸中学校開校 ／市立しいのみ学園開園
1982／S57年	市制施行10周年／市の人口10万人突破 ／瑞沼小学校・前川中学校開校
1983／S58年	大場川下流排水機場完成／中川流域下水道終末処理センター完成・下水道供用開始 ／市役所新庁舎落成／市立図書館開館



A 市制施行



B 三郷駅開業

1984／S59年	前間小学校・早稲田中学校開校／コミュニティセンター、南児童センター開館／文化会館開館 ／長野県三郷村と友好都市締結
1985／S60年	湖郷橋開通／常磐自動車道と首都高速足立・三郷線が接続し供用開始 ／武蔵野線新三郷駅開業
1986／S61年	第1次三郷市総合計画策定／奈良県三郷町と友好都市締結 ／さつき平「パークフィールドみさと」への入居開始 ／市立しいの木学園開園
1987／S62年	三郷市農業協同組合設立／早稲田図書館開館 ／三郷市シルバー人材センター設立
1988／S63年	三郷市非核平和都市宣言／第3学校給食センター完成 ／彦成・東和東地区文化センター開所
平成	
1989／H元年	第2次三郷市総合計画策定
1990／H2年	瑞穂中学校開校／三郷市スポーツ健康都市宣言 ／総合体育館開館
1991／H3年	さつき小学校開校／彦沢老人福祉センター開所 ／高州地区文化センター開所 ／埼玉県東南部都市連絡調整会議設立
1992／H4年	市制施行20周年／一般廃棄物最終処分場竣工 ／後谷小学校開校／郷土資料館開館 ／東京外環自動車道開通
1993／H5年	北部図書館開館／消防・防災総合庁舎落成 ／老人憩いの家「やすらぎ荘」開所
1994／H6年	高州地区体育館開館／半田運動公園完成 ／さつき学園開園 ／戸ヶ崎老人福祉センター開所
1995／H7年	鷹野文化センター開所／戸ヶ崎老人デイサービスセンター開所
1998／H10年	5市1町の公共施設の相互利用開始 ／シルバー元氣塾スタート
1999／H11年	新三郷駅ホーム上下線一体化完了 ／健康福祉会館開館
2001／H13年	第3次三郷市総合計画策定 ／大場川上流排水機場完成 ／三郷市環境基本条例制定
2002／H14年	市制施行30周年 ／市内初のコミュニティバスが運行開始
2003／H15年	世代交流館ふれあいパーク開所 ／みさとファミリーサポートセンター開設 ／新和小学校新校舎完成
2004／H16年	彩の国まごころ国体開催

2005／H17年	さつき小学校と瑞沼小学校が統合し、瑞木小学校が開校 ／ピアラシティ開業 ／つくばエクスプレス開通、三郷中央駅開業 ／東京外環自動車道三郷南に開通 ／市の鳥カイツブリ制定
2006／H18年	三郷市環境基本計画策定 ／瑞沼市民センター開所 ／鷹野学校給食センター西館新設
2007／H19年	三郷スカイパーク開園
2008／H20年	三郷市地域福祉計画策定 ／高校総体開催 ／新三郷らシティ開業 ／三郷料金所スマートIC社会実験スタート
2009／H21年	三郷市自治基本条例制定 ／「かいちゃん＆つぶちゃん」が活動開始 ／「ららほっとみさと」がサービス開始
2010／H22年	第4次三郷市総合計画策定 ／三郷市景観計画策定、三郷市景観条例制定
2011／H23年	東日本大震災 ／瑞沼市民センターに避難所を設置
2012／H24年	市制施行40周年 ／ピアラシティ交流センター開所
2013／H25年	「日本一の読書のまち」を宣言
2014／H26年	市立図書館・郷土資料館移転、新築開館
2015／H27年	新和吉川線開通 ／みさとこどもにこにこプラン策定
2016／H28年	三村合併60周年 ／長野県安曇野市、奈良県三郷町との友好都市締結30周年 ／第4次三郷市総合計画後期基本計画、三郷市版総合戦略・三郷市版人口ビジョン策定 ／東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるギリシャ共和国のホストタウンとして登録

2017／H29年	市制施行45周年 ／人口14万人達成 ／三郷市こころつながる手話言語条例施行
2018／H30年	東京外環自動車道三郷南ICから高谷JCTまで延伸 ／三郷市陸上競技場オープン ／子育て支援ステーションほほえみ開設 ／埼玉西武ライオンズと協定締結 ／三郷市PR大使を委嘱
平成・令和	
2019／H31年・R元年	消防本部・消防署50周年 ／三郷中央におどりプラザ開所 ／戸ヶ崎ふれあいひろば、ふれあいの郷下新田開所
令和	
2020／R2年	観光協会法人化 ／三郷料金所スマートインターチェンジフルインター化新規事業化
2021／R3年	第5次三郷市総合計画策定 ／東京2020オリンピック競技大会ギリシャ共和国陸上選手団事前キャンプ受入
2022／R4年	市制施行50周年
2023／R5年	三郷流山橋有料道路開通



D 陸上競技場完成



広報みさと

市からのお知らせ、イベント・講座情報などを掲載。市民の皆さんには、町会・自治会や公共施設等を通じて配布しています。ホームページでは最新号・バックナンバーも閲覧可能です。



多言語情報ツール(カタログポケット)



広報みさとを英語、中国語など10言語で配信(翻訳および音声読み上げ)しています。



くわしくは
こちら

マチイロ



スマートフォンやタブレット端末から、いつでも手軽に広報紙を読むことができます。



くわしくは
こちら

ポケットみさと

「いつもポケットの中に三郷の暮らしに便利な情報を」というコンセプトのもと、日々のゴミ出しから子育て、防災に関する内容までさまざまな情報が満載のアプリです。



iOS



Android

三郷市ホームページ

市の公式サイトです。各種手続きから観光まで、まちの情報を掲載しています。



メール配信サービスの ご利用を

携帯電話・スマートフォン・パソコン等のメールアドレス宛てに、市からのイベント情報や防災情報など、希望する内容の情報を配信しています。登録については市ホームページをご覧ください。

【URL】 https://www.city.misato.lg.jp/shiseijoho/koho_kocho/koho/7267.html



【ページID】 7267 (市ホームページトップの「広報のページIDで探す」にIDを入力して検索)

☎ 広報広聴課広報シティセールス係 ☎ 930-7762



SNS ソーシャル ネットワーキングサービス

まちのイベントや防災について発信しています。パソコンや携帯端末からフォロー(登録)するだけで情報が届きます。

Facebook



X



三郷市PR大使



市の魅力をより多くの人に知ってもらえることを期待し、
さまざまな分野から6名を三郷市PR大使として委嘱しました。
個人の活動を通じて、三郷市を広く発信していただいています。



宇佐美 友紀さん

【タレント・ラジオパーソナリティ】

三郷市出身、北中学校卒。
タレント・ラジオパーソナリティとして活動中。
市のイベントMC等も多く務め、マルチな才能を発揮している。



藤富 郷さん

【気象予報士・税理士】

三郷市出身・在住。
気象予報士としてテレビ出演する一方、
市内に税理士事務所を開業し、マルチな分野で活躍している。



村田 雄浩さん

【俳優】

県立三郷高校一期生で生徒会長を務め、卒業。
俳優としてさまざまな映画やドラマ、舞台、
CMなどに出演している。



中澤 佑二さん

【元プロサッカー選手】

県立三郷工業技術高校卒。
平成31年1月にプロサッカーの現役を引退。
現在はラクロスの指導者として活動中。



小林 みゆさん

【プロ和楽器奏者】

県立三郷高校卒。
小2で和太鼓、小5で篠笛を始め、
現在はプロ和楽器奏者として活躍中。



高橋 萌木子さん

【元陸上選手】

三郷市出身、早稲田中学校卒。
陸上競技会において目覚ましい成績を収める。
現在は引退し、こども向けの陸上教室や講演など、
自身の経験を後進に伝える活動をしている。



三郷市の子育て

こどもが健やかに育まれるまちを目指している三郷市。
妊娠期から出産、育児まで切れ目のないサポートを行っています。
子育て中の親と子が交流できる場や子育てに関する相談窓口など、
三郷市の子育て支援を紹介します。



子育て支援センター

乳幼児(0歳～3歳)を子育て中の親と子が交流する場です。子育てに関する相談や子育てサークルの育成・活動場所の提供など、さまざまな援助活動を行っています。電話相談や個別相談(要予約)も受け付けています。



八木郷子育て支援センター

〒 鷹野1-415
(コビーブリススクールみさとがとろ内)
☎ 951-7661
🕒 午前9時～正午、午後1時～5時
📅 日曜、国民の休日、年末年始



三郷中央駅前

子育て支援センターにこにこ
〒 中央1-2-1 ザ・ライオンズ三郷中央1F
☎ 953-6625
🕒 午前9時～正午、午後1時～5時
📅 日曜、国民の休日、年末年始



ファミリー・サポート・センター

子育ての援助を受けたいかた(依頼会員)と子育ての援助を行いたいかた(提供会員)で構成された、育児を地域で支えあう会員組織です。一時的にこどもの保育ができないときなどにご利用ください。くわしくはQRコードからご確認ください。
📞 ファミリー・サポート・センター ☎ 930-7748



こども家庭センター

お子さんとその家庭(妊産婦を含む)の子育てに関して保健師・助産師・子育て支援員(保育士)・心理士が相談に応じます。下記以外のご相談でもお気軽にご利用ください。

【相談内容例】

●母子保健に関する相談

初めての出産で不安、産後の体調が良くない、ミルクを飲まない、体重が増えない など
相談日:月～金曜日(午前9時～正午、午後1時～4時)
相談場所:こども家庭センター おやこ保健係(健康福祉会館3階)
☎ 930-7827

●子育てに関する相談

ご飯を食べない・夜寝てくれない・友達と遊べない・近くの遊ぶ場所について・上の子の育児相談・子育てがづらい など

●保育に関する相談

保育所等の相談、一時預かり等
相談日:月～金曜日(午前9時～正午、午後1時～4時)
相談場所:こども家庭センター こども家庭係(健康福祉会館3階)
☎ 930-7774



その他の子育てに関する相談窓口は、
市ホームページからご確認ください。



つどいの広場

乳幼児(0歳～3歳)を子育て中の親と子がいつでも自由に集い、交流を図る場です。子育てアドバイザーが常駐しています。友達の輪を広げたり、親子で一緒に楽しむ場としてお気軽にお越しください。各施設の情報はQRコードからご確認ください。



子育ての情報ツールを活用しよう！

【にこにこ子育て応援ガイド】

妊婦から、就学前の児童の子育て情報をまとめた便利な一冊です。電子書籍もご覧になれます。



【予防接種自動スケジューラー(かいつぶナビ)】

市の予防接種や乳幼児健診など、お子さんの健康に関する情報を提供するサービスです。

くわしくはP74でご確認ください。



日本一の読書のまち三郷

三郷市では、家庭・地域・学校・図書館が一体となり、誰もが、いつでも読書に親しめるよう、読書活動を推進しています。日本一「本とふれあえるまち」を目指して、さまざまな取り組みを行っています。



図書館

市内7図書施設と予約図書受取カウンターで本を借りることができます。すべての人が読書に親しめるよう、特集展示で新たな本との出会いを提案したり各種講座を開催したりしています。



市図書館HP



ふれあいブックワゴン 1号車・2号車

市が所蔵する図書という知の財産を市全体で活用するため、保育所や幼稚園、高齢者施設にふれあいブックワゴンで本をお届けします。また、絵本の読み聞かせや読書講座を出張で行います。



日本一の読書のまち ふれあい文庫

市民の読書のきっかけづくりとして身近な場所に設置を進めています。本を通じて、市民同士の交流を深めます。

ふれあい文庫のお手入れをするボランティア、ふれあいブックサポーターも活躍中です。



参加型イベント

参加者が主体的に読書を楽しむ各種行事、市民と共に作り上げる秋の読書まつりなどを開催しています。



読書ボランティア

本の魅力や読書の楽しさを広めるため、学校や施設などで読書ボランティアが活動しています。



日本一の読書のまち 三郷

日本一の読書のまち宣言

三郷市は読書活動を通して、人と人との絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまちを創ることを願い、平成25年3月18日に三郷市議会の議決を経て「日本一の読書のまち」を宣言。多くのかたがたのご支援をいただきながら、さまざまな読書活動を推進し、令和5年3月に宣言から10周年を迎えました。



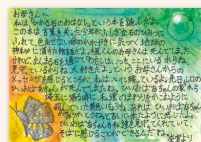
読書ウィーク

学校や図書館等で、さまざまなイベントが行われる1週間。最終日には「三郷市読書フェスティバル」も開催しています。本の感動を家族に手紙で伝える「全国家読うぶんコンクール」の表彰式も行われます。



うちどこも 家読しよう！

家族みんなで読書を通して、コミュニケーションを深めることを目的とし、家庭での読書を推進しています。



全国家読うぶんコンクール「令和5年度 柳田邦男賞 受賞作品」

みさとっ子は 本と触れ合う機会がたくさん！

「ブックスタート」

4か月児健康診査時に読み聞かせを行い、親子のふれあいのきっかけづくりとして絵本をプレゼントしています。



「らんどせるブックよもよも」

小学1年生に対し、学齢期の読書習慣を育てるため、三郷市図書館選定の本の中から、児童が希望した本をプレゼントしています。



「子ども司書」

養成講座を修了した子ども司書たちは、読書活動のリーダーとして市内のさまざまな場所で活躍しています。



「読書ゆうびん」でつなぐギリシャ交流
ホストタウン交流先であるギリシャ共和国と「読書ゆうびん」の交流を行っています。全国家読うぶんコンクールにて「ギリシャ賞」の表彰をし、ギリシャの中学生からは、三郷市へ「読書ゆうびん」が送られています。

